

## 勿凝学問 363

憲政史上最大の確信犯的公約違反とその後遺症への学術的関心

2011年2月27日

慶應義塾大学 商学部

教授 権丈善一

憲政史上最大の確信犯的公約違反——これは、谷垣さんが代表質問で使った表現だけど、その通りだと思うよ。僕の政治経済学的な関心は、その後遺症の大きさにあるんだけど、そうした関心に関する一連の文章を、HPに書いていたので、こっちに引っ越ししておく。

まずは、2月24日の書き込み。

かつての、総理の漢字の読み間違いや、総理が夜、バーに行ったなどの報道と比べると、はるかにまともなことが報道されているみたいだな。昨日の党首討論をみていた僕からみても違和感のない記事だね。今の総理や与党は、不思議と相手の論が正論になってしまうという大きな特徴をもっているんだよなあ。良いことなのか、悪いことなのか分からんけど、興味深い特徴ではある。

- [菅首相、空回り 動揺、狼狽、そしてまくしたて](#) msn 産経ニュース

それと、読売新聞も、社説で「谷垣総裁も、衆院解散要求を強めるだけでは、責任政党の取るべき態度とは言えない」という前に、谷垣さんの代表質問時の次の論のどこがおかしいのかを、紙面のどこかで決着つけたいとな。

- [党首討論 菅首相は公約修正に踏み込め](#) 読売新聞
- 谷垣さん [代表質問](#) (1月26日)

ここまでマニフェスト実現の状況が惨憺たるものであり、政策の優先度も見失われている状況ですと、民主党マニフェストがだまし絵であるとか、選挙用の毛鉤であると非難してきた与謝野大臣の従来の指摘は、極めて的を射たものでありました。憲政史上最大の確信犯的な公約違反とも言え、有権者を著しく冒瀆しております。こうしたマニフェストの上に成り立っている民主党の現在の議席ひいては民主党政権の正統性そのものもはや崩壊したと言わざるをえません。このマニフェスト策定の中心にあったのは小沢元代表であります。党の要職にありながらこれに異を唱え

なかった菅総理もまたその責任を免れえません。国民に幻想を振り撒いて政権を篡奪することが正当化されれば、わが国の民主制は瓦解します。苦しい言い訳に終始するのではなく、潔くマニフェストの過ちを認め、これを撤回し、有権者にお詫びしたうえで信を問い直すべきだと考えますが、総理の見解を伺います。

・・・

繰り返し申し上げます。消費税を含む税制抜本改革は、無駄排除の財源確保を基本構造とするマニフェスト、国民との契約条件を根底から覆す一大政策転換である以上、解散して国民に信を問い直さなければなりません。

・・・

この解散には、もう1つ重要な意味合いがあります。すなわち、小沢元代表が民主党にもたらした問題は「政治とカネ」に留まるものではありません。小沢元代表に作られた偽りのマニフェストを基盤とし、小沢元代表の選挙の手腕によって得られた砂上の楼閣が如き多数の議席を清算することなくして、「小沢斬り」は貫徹し得ません。一昨年の夏、民主党マニフェストを片手に国民に幻想を振り撒いた全員が胸に手を当てて、国民への嘘で政権を篡奪したことへのけじめをいったん付け、新たなスタートをきることこそが、わが国が健全な民主主義を取り戻す唯一の途と考えます。

[2月2日](#)に書いているように、与謝野さんが、民主党は野党の時には「知らなかった」「無知だった」と言ったこと自体がウソなんだよな。当時、民主党の要職に就いていた者達は、マニフェストがだまし絵であることを知っていたわけで、まさに、確信犯的な公約違反だったわけだ。

2月25日の書き込み。

今日の、大機小機はいろいろな意味でおもしろいな。

- 破綻マニフェストの責任

マニフェスト選挙を実効あるものにするため、「新しい日本をつくる国民会議」(21世紀臨調)ではマニフェストの検証大会を開いてきた。09年総選挙前の8月にもこの会が開かれ、9つのグループが評価に参加した。改めて当時の資料を見ると興味深いことが分かる。

総合的な評価でみて、連合など3つのグループが民主党のマニフェストに高い評価を与えている。連合は財源問題についても、「主要政策の工程表・財源が明示されており（中略）評価できる」としている。

当時、次から次に依頼が来るマニフェスト比較の企画を、百害あって一利なしと言って、次から次につぶしていた僕が、当時の21世紀臨調の活動に対してどういうことを言っていたかは、[2009年8月11日](#)をご参照あれ——あの頃、21世紀臨調代表の活動を眺めながら、全部とは言わないが政治学者有害論の確信を高めていたりもしたもんさ。

昨日8月10日の朝刊では一斉に一面で、「新しい日本を作る国民会議」（21世紀臨調）主催の公約検証大会のことを取り扱っていたけど、あれ、経済同友会と連合など異質な複数の団体の点数を足したり平均値を出したりすることになんの意味があるんだ？少なくとも分かったことは、8月9日日曜日に、あの記事を翌朝の一面にせざるを得なかったほど、よほどなにも起こらなかったんだろうということかな。。。  
なんだか最近、面白すぎる企画が多すぎる。

とにかく、与党は、あのマニフェストはやる気があれば実行できるというような代物ではまったくなく、総選挙の時は大ウソをつきましたと言わないことには、自らの存在意義・活動の大義を2009年衆院選マニフェストに求める人たちが、大きな勢力として生き残るという面倒なことになるんだよ。

そして、2月26日。

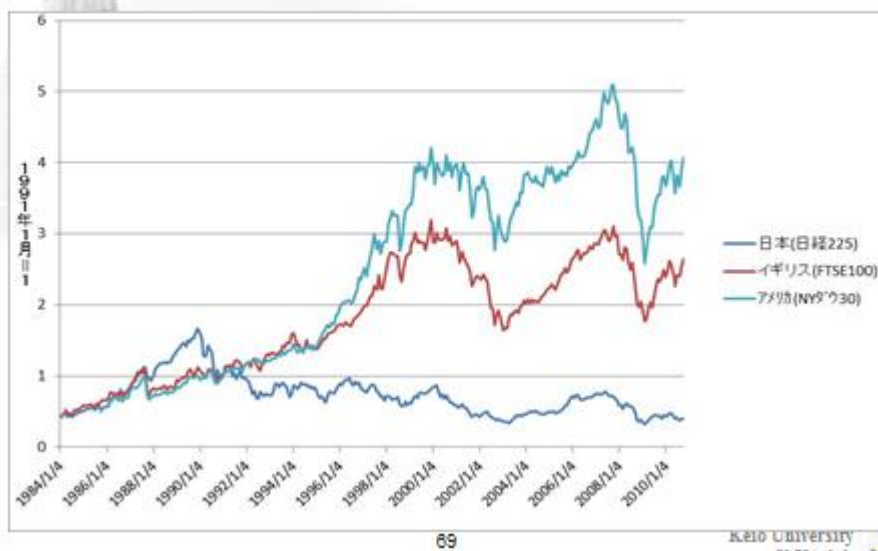
まあ、岡田さんの言う通りなんだけど、どうせ抱きつくなら、自らの活動の大義を2009年衆院マニフェストに求める人たちに抱きついて、彼らの存在意義そのものを消し去ってしまってくれるのが、少しは世のため人のためなんだけどな。

#### [岡田氏、ヤジに応酬 マニフェスト「誰が見てもできないこと!？」](#)

民主党の岡田克也幹事長が25日、横浜市で開かれた党神奈川県連パーティーで、衆院選マニフェスト（政権公約）見直しに理解を求めたところ「挙党態勢をちゃんとやれ」「マニフェストを守れ」などと激しいヤジが飛んだ。会場が騒然となる中、岡田氏は「誰が見てもできないことをいつまでもできると言うのは、まさしく国民に対する不正直だ」と応酬した。

Anyway、総選挙当時、民主党の主要な議員は、このマニフェストは誰がみてもできないことを分かっていたんだと言ってしまえばすむ話だ。さてさて、この詐欺選挙という禁じ手による政権篡奪の政治的後遺症は、どの程度の規模になるのか——僕の政治経済学的な関心は、そのあたりにある。昨年の北大シンポの時に使った最後のスライドで示したように、やってはいけないバカなことの後遺症ってのは、想像を絶するもんだったりするわけだ。

## 経済的後遺症と政治的後遺症 日英米の株価指数



### 付録

2月26日の書き込み

次は、国会での議論を観ている人の意見だね。今ばかりは、媒体を通さないで直に観察することだ。でないと、また、後になって、「メディアが悪い」と、口にしても詮無いことを言うだけの、国を壊す加害者になってしまうだけだから。

- **【無意味な党首討論】** あらたにす

情けない。この一言に尽きる。

最近二度にわたって行われた党首討論であるが、いずれも菅総理の答弁のレベルの低さに呆れるばかりである。新聞やテレビマスコミにおいては「野党が解散ばかりを求めて政局しか考えていない」などという論調を目にするが、国会での議論や党首討論を全編見ていると、とてもそうは言えない事に気がつくはずだ。

菅総理は野党の質問にはほとんど答えず、質問に質問を返すだけで全く議論にならない。政府与党としての意見を言わず、ただひたすら野党に意見を出せと言いつける。挙句の果てには野党が良い意見を出してくれば丸飲みしますよなどと言いつける始末。

日本国総理大臣として、そして与党代表として、そのような筋の通らない稚拙な討論しかできないのかと情けなくなるばかり。このようないい加減な対応しかされないのであれば、野党が辞任・解散を求めるのも仕方なかろう。菅総理および各大臣は国会での討論・議論について、もっと真摯に取り組んでいただきたい。